

高等学校 令和7年度

教科： 国語

科目 理系古典

教科： 国語 科目： 理系古典

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：) 大泉 (2組：) 大泉 (3組：) 金子藍 (4組：) 金子藍  
(5組：) 大泉 (6組：) 大泉 (7組：) 大泉

使用教科書： ( 第一学習社 古典探究 )

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 理系古典 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書					
[古今著聞集] ・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辭について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 [推敲・呉越同舟] ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓詁のきまりについて理解を深める。	・指導事項 ・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 古今著聞集・推敲・呉越同舟 ・一人1台端末の活用 等		○	・積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。 ・和歌の修辭について理解し、学習の見通しをもって調べたり発表しようとしていたりしている。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	8
[今物語]・著名な和歌をふまえた話を読み、「やさし蔵人」の逸話を通して語り伝えようとしたことを読み解く。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 [嬰逆鱗知音] ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・訓詁のきまりについて理解を深める。	・指導事項 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・教材 [今物語][嬰逆鱗知音] ・一人1台端末の活用 等	○	○	・『古今著聞集』『沙石集』と読み比べ、和歌を含んだ説話の特質について積極的に理解を深めようとしている。 ・助動詞「る」「らる」の意味を理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。 ・故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	9
定期考査					○	○		1
[徒然草] ・争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 [鼓腹撃壤]・文語のきまりについて理解を深める。 ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、古代中国の理想的政治のあり方について理解を深める。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・史伝という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 [徒然草][鼓腹撃壤] ・一人1台端末の活用 等	○		・随筆に表れた作者の考えを積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・作品に表れた無常観を読み取り、学習課題に沿って、我が国の中世的なものの見方について考えを深めようとしている。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想的政治のあり方を捉えようとしている。	○	○	○	8
[方丈記]鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・和漢混雑文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ・古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化の特質について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。	・指導事項 ・和漢混雑文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 [方丈記] ・一人1台端末の活用 等	○		・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえ、作品を深く読み取ろうとしている。 ・積極的に史伝を読み、登場人物の言動からうかがえる古代中国の理想的政治のあり方を捉えようとしている。	○	○	○	9
定期考査					○	○		1

1 学期

